

原子力防災訓練について

平成 26 年 2 月 3 日
県民生活部原子力災害対策室

1 平成 25 年度原子力防災訓練の結果について

(1) 日時：平成 25 年 6 月 24 日（月）13 時～15 時 30 分

(2) 場所：那須烏山市烏山公民館

(3) 参加機関及び参加者数

栃木県（県民生活部、環境森林部及び保健福祉部）、市町、県警察、消防、（一社）
栃木県医師会、那須烏山市自主防災組織、（独）日本原子力研究開発機構、日本原
子力発電(株) 合計 300 名

(4) 訓練項目

ア 緊急時通報連絡訓練

イ 住民等避難・誘導訓練

ウ 緊急時モニタリング訓練

エ スクリーニング等（医療救護）訓練

オ 防災意識の啓発（原子力防災に係る講演、パネル展示等）

(5) 結果概要（詳細は別紙のとおり）

ア 講評：栃木県原子力災害対策専門委員会委員長 鈴木 元氏

○ 本県として初めての訓練で、机上ではなく実際に体験できた点で大きな意味があった。各訓練とも、なぜこのような防護措置を講じるのか理解を深めることで、一層有意義なものとなる。

○ モニタリングは、これまでの経験もあり手慣れていた。スクリーニングについては、避難者の汚染対策を考慮されたい。

○ 今回の訓練を基礎として、各防護措置等のレベル向上に努められたい。

イ (株)総合防災ソリューション（訓練企画運営支援等業務受託者）成果報告

○ 本訓練については、多くの職員の参加により、防災業務関係職員の防災業務の習熟、意識の向上という所期の目的を達成することができた。

○ 訓練項目について、参加者に対し全ての訓練に参加できるよう設定することが必要である。また、参加者について、市町や消防だけでなく、医療機関関係者など、より多くの参加者を対象とすることが望ましい。

2 平成 26 年度原子力防災訓練について

原子力災害対策指針の改定状況、平成 25 年度原子力防災訓練の結果等を踏まえ、栃木県において必要な防護措置に係る訓練を実施するとともに、関係職員の原子力防災に係る知識及び技術の修得、意識の向上等の充実を図り、本県の原子力災害対策の更なるレベル向上に努める。